

## 競技の条件

### 【ゴルフ規則】

日本ゴルフ協会(JGA)ゴルフ規則及び本大会ローカルルールを適用する。

### 【競技委員会の裁定】

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

### 【使用球の規格】

競技者の使用球は R&A 発行の公認球リスト(JGA ホームページ:[www.jga.or.jp](http://www.jga.or.jp)) は、競技失格。  
※本競技ではワンボール条件は適用しないものとする。

### 【使用クラブの規格】

競技者のドライバーは R&A が発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッドをもつものでなければならない。  
この条件の違反の罰は、競技失格。

### 【ホールとホールの間での練習禁止】

競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならない。

これに違反して練習ストロークした場合、競技者は次のホールで 2 打の罰を受ける。ただし、ラウンドの最終ホールでのときは、そのホールで罰を受ける。

※練習グリーンでのパッティング練習を除く。

### 【険悪な気候条件の為競技が中止になった場合】

競技中止の時点で 9 ホールを消化していれば競技成立、消化していなければ不成立とする。

### 【タイスコアの場合】

スコアがタイとなった場合、カウント・バック方式により上位を決定する。

### 【競技終了時点と裁定】

本大会は、成績発表がなされた時点で終了となり、その後の変更はしない。  
ルール処置・その他疑問がある場合は、アテスト終了までに申告すること。

### 【チェックイン】

大会当日における朝のチェックインについて、発表された各自のスタート時間の 30 分前までに大会受付を終えなければならない。

### 【競技方法】

18 ホールストロークプレーによって行う。

ティショットはスタートホールにおいてはドロー表の順番とする。次のホール以降はスコアの良い選手がオナー権を持つことができる。

略上、必ずしも遠いボールからパッティングしなくてもよい(例:カップに近いパーパットと遠いバーディパットが残った状況で、パーパットを先に決めて から、バーディパットを打ってもかまわない)。マーカーとはあくまでも委員会(JCG マネージメント社)がスコアを記録するために指名した人のことで、規則を判断・裁定する権限はありません。

### 【大会ローカルルール】

アウト・オブ・バウンズの境界は白杭をもって標示する。

修理地は青杭又は、白線をもってその限界を標示する。

イエローペナルティーエリアは大会ローカルルールで指定する場合を除き、黄杭又は黄線、レッドペナルティーエリアは赤杭又は赤線、無い場合は水際又はコンクリート(木)壁をもってその境界を標示する。

排水溝は動かせない障害物とし、人工の表面をもつ道路に接した排水溝は、その道路とみなす。

このローカルルールの違反の罰は、2 打。

(a) ジェネラルエリアの球。そのプレーヤーは規則 16.1b に基づいて救済を受けることができる。

(b) パッティンググリーン上の球。そのプレーヤーは規則 16.1d に基づいて 救済を受けることができる。

グリーン上に球がある時はパター以外のクラブの使用を禁ずる。但しパターが破損し使用不可能な時はその限りではない。

### 【ルールの確認】

ジェネラルエリアのどこでも、自己の球がその勢いで自ら地面に作った穴(ピッチマーク)にくいこんでいるときは、その球は罰なしに拾いあげて、ホールに近づかず、しかも球の止まっていた地点にできるだけ近い個所にドロップすることができる。取り出した球は、拭くことができる。

レーザー・GPS 等を用いた距離のみを測定する機器を使用する事ができる。距離計測機がプレーヤーのプレーに影響を及ぼす可能性のあるその他の条件(標高変化、風速など)の計測機能は使用できない。

プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーやパートナー、キャディーまたはそのいずれかの携帯品 によって偶然に動かされても罰はない。

注意:パッティンググリーン上のプレーヤーの球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。

バンカー内にあるルースインペディメント(葉、石などの自然物)を取り除ける。

ライン上にあるスパイクマークの修理をすることができる。

### 【注意事項】

ゴルフ場ごとに競技の条件やローカルルールに追加・変更がある場合は、当日クラブハウス内の大会公式掲示板に掲示して告示するので、各自スタート前に必ず確認しなければならない。  
大会受付のチェックイン登録は、遅くともスタート 50 分前には済ませ、スタート時間の 10 分前には必ずティインググラウンド側にて待機すること。

スタート前の練習は練習場において備付けの球を使用し、1 人 1 箱とする。

グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。

ドローは諸般の事情により当日変更もありうる。なお、ペアリング(ドロー)は事務局が決定する。

プレー中はマナーを遵守するとともに、スロープレーは厳禁とする。前組との間隔を 1 ホール以上空けることのないよう注意すること。ハーフラウンドを原則 2 時間 15 分とし、2 時間 45 分を超えた場合にはペナルティを課すことがある。

OB またはロストボールの可能性がある場合には、必ず暫定球の処置を行うこと。

ギャラリー(応援者)はコース内に立ち入ることができない。

エントリーフィー入金後はいかなる理由でも返金できない。既に申込みの会場が締切り後の場合は、会場変更はできない。

最終的な参加会場等の決定は事務局の判断となる。

18 歳以下のジュニアゴルファー(高校生以下)は親の承諾を得てから、申し込むこととする。

主催者の責に帰すべき事由によるもの以外に、大会中に発生した傷害・事故等については一切責任を負わない。

本競技の品位を損なう行為があった場合は、プレー中であっても即刻、競技への参加を取り消すこともある。

### 【その他】

最終結果は競技終了後、大会公式掲示板・大会公式サイトに掲示する。

変更・追加が出た場合は、大会公式掲示板・大会公式サイトに告示する。